

C—24 ファンデーションの整容効果と身体への影響について

和洋女大家政 宮川 豊美
 ○田口 秀子
 川村 一男

1. ファンデーションの整容効果と着用時の身体におよぼす影響について追究を行なった。
2. 被験者は健康なる女子学生で，使用したファンデ

ーションは、ポリウレタン混用率8, 10%, 16%, 20% 23%, 27%のソフトガードル、ヒップアップ付ガードルおよびパワーネットガードルである。まず、被験者に身体に密着したショーツを着用させてその状態を前、後、側の角度よりフィルムにとり次に、前記ガードルを着用させ、同様に写真撮影を行ない、その写真についてファンデーションの整容効果を比較検討した。また人工気象室にて着用時皮フ温ならびに湿度を測定した。心電図、呼吸数、エネルギー代謝の測定は、食後約1時間安静にしたのちに行ない、身体への影響について追究を試みた。

3. 1)ヒップアップの効果は各種ガードル着用時に見られたが、特にヒップアップ付のものについては、腰部のヒップアップラインが各個の体型（臀部）に適切ならばより効果がある。2)側部では腹部における整容効果が認められた。3)ソフトガードルでは長時間使用しても圧迫感が少なくである。4)各種類ともウエスト線と大腿部で圧迫が著るしく、ロング型のものでは大腿部でやや緩和される。5)ポリウレタン混用率の少ないもののほど皮フ温、湿度とも低い傾向を示した。6)呼吸数、心電図、エネルギー代謝ともガードル着用時に身体への影響が若干見られた。